4月18日(月)

イエス様は私たちの船に乗り込まれた

聖書朗読 マルコ 6:45~52

イエスは、弟子たちが、向かい風のために漕ぎあぐねているのをご覧になり……。
マルコ 6:48

今日の力

2016年4月18日~4月24日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

助けがものすごく必要な時に、神様に見放されてしまったと感じたことが今までにありますか。イエス様が弟子たちを船にのせて湖に送り出し、ご自分は岸に残って祈られたとき、弟子たちはそんなふう感じていたかもしれません。弟子たちが漕ぎ出すにつれ、嵐が起り、強風や波によって水面が荒れだしたからです。嵐が強まるにつれ、弟子たちは弱気になりました。そんな時に、助けとなるイエス様はどこにおられたのでしょうか。

イエス様はご自分の友なる弟子たちが苦しんでいるのをご覧になると、そのまま見過ごしていることができず、湖の上を歩いて弟子たちの船に乗り込まれました。その途端、嵐は静まり、水面は穏やかになりました。イエス様にとっては嵐などなんでもなかったのですが、ご自分の友が苦しんでいるのをそのままにしておくことができなかったのです。強風と高波の中を歩かれて、苦しんでいる友の船に乗り込まれると、嵐を静め、混乱した船の中に平安をもたらしました。

イエス様において、神様は私たちと苦しみを分かち合われます。そして、イエス様の苦しみを通して、永遠の平和を私たちのもとにもたらしてください。イエス様の平和は、イエス様ご自身が苦しまれることによってもたらされるのです。イエス様を通さずに、私たちがその平和を得ることはできません。

讃美歌 第二編 157

祈り 親愛なる神様。私たちがいつもあなたの愛を覚えていられるように助けてください。あなたがいつも私たちの近くにおいて、決して離れることはない、私たちに分からせてください。

救い主イエス様の御名において。アーメン。

スタン・カニンガム
テネシー州 ナッシュビル

御茶の水キリストの教会

4月19日(火)

十二分に

聖書朗読 マルコ 6:30~44

わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

ヨハネ 10:10

外国を旅行すれば、世界には様々な文化があると分かります。イスラエルの家族と食事を楽しんでいるところを想像してみてください。あなたが自分の皿のものをすべて食べてしまったら、もっとほしいかどうかに関係なく、その家の人はずいぶんおかわりを皿の中によそってくれるはずですよ。なぜかという、イスラエルでは皿の中に少し食べ物を残すことによって、満腹になったと伝えるからです。

イエス様の教えを聞くために集まった数千人の群衆は、困りはてました。食べ物を手に入れることができず、買うにしても、そんなに大勢を食べさせるためにはお金がかかりすぎたからです。イエス様は少年のお弁当を奇跡によって増やすと、群衆に食べさせました。

群衆が満腹になるまで食べてもまだ残りが出たことに、あなたは気づきましたか。同じことは、ヨハネ2章やマルコ8章で、イエス様が水をぶどう酒に変えたり、4000人に食べさせたときにも起こりました。イエス様は十分以上に与えたのです。

イエス様の力は、お約束なさったこと以上に与えることができます。イエス様は私たちに地上での豊かな命をくださると約束なさいました。イエス様は、私たちが困難にあっても旅を続けられるように、共にいてくださいます。イエス様は私たちに永遠のいのちをお約束され、そしてそれは必ず果たされます。

今日、イエス様の力によって励ましてもらうために立ち止まりましょう。イエス様は十二分に与えてくださいます。

讃美歌 第二編 56

祈り 天国のお父様。あなたの力は私たちの理解をはるかに超えています。あなたがこの世界の創造主であり、また私たちと共にいてくださるとお約束くださっている方であると、私たちが覚えていられますように。あなたを信頼していただけるように助けてください。

イエス様の御名のもとに。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア

4月20日(水)

真理によって確信する

聖書朗読 マルコ 14:55~65

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

ヨハネ 14:6

ユダヤの宗教的指導者たちは、イエス様を罪人として訴えようとしたが、なかなか証拠をでっちあげることができませんでした。彼らはイエス様に対して偽りの訴えを人々にさせました。そして証言人たちは彼らの偽りを正すことができませんでした。

宗教的最高指導者がイエス様に「あなたは救世主なのか」と尋ねました。イエス様は「そうです」と答えました。そして、その真実によってイエス様は死刑の宣告を受けました。偽りがイエス様を傷つけたのではなく、真実によってイエス様は罪人とされたのです。

今日、多くの人々がイエス様について偽りを語っています。彼らは、イエス様は生存しなかった、または生存したが今日のような影響を私たちの人生に与えなかったとしています。イエス様はただの良い人、または偉大な預言者だったにすぎなかったと。

しかし、真実はイエス様は救世主であり、神様の御子であり、天のお父様へ私たちを導く道であることです。イエス様についての嘘を聞くことは、真実について聞くことよりも簡単です。しかし真実のみが、私たちが自分の罪に気づき、自我を捨ててよみがえったイエス様の内に住まうことを可能にするのです。

イエス様にとって真実は死への宣告でしたが、私たちにとって真実は永遠のいのちへの道なのです。

讃美歌 279

祈り 親愛なる神様。私たちにあなたのひとり子であるイエス様をくださってありがとうございます。あなたの御子イエス様を通して私たちはあなたを知ることができます。イエス様の真理によって私たちを確信させ、私たちが嘘によって惑わされることがないようにしてください。

祝福された御子イエス様の御名において。アーメン。

タミー・デットモア

カリフォルニア州 ニューベリー・パーク

4月21日(木)

忍耐力の源

聖書朗読 ルカ 6：46～49

というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかには、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。 Iコリント 3：11

イエス様は、堅固な岩の上に自分の家を建てた人について話されています。風雨にあっても、その家はしっかり立っています。他の人は砂の上に家を建てました。嵐が来ると、彼の家は流されてしまいました。土台がしっかりしていなかったからです。家が建てられた場所に結果が左右されるのです。なぜなら、場所というのは土台を決定するところになるからです。

私たちが幼い頃、日曜学校でこの讚美歌を歌うときには、小さなこぶしで机をたたきながら、まるでこれらの家々を建てているようにして歌ったものです。3番目の歌詞を歌うときには、指を振りながらこう歌いました。「だから、あなたの家を主なるイエス・キリストの上に建てなさい」。

岩の上に家を建てた人と砂の上に家を建てた人は、家を建てるために同じ努力をしました。二人とも、お金と労力と時間を費やしたのです。しかし、土台の違いを引き起こしました。いのちについて言えば、いのちが嵐に打たれる前、岩の上にすえられるべきです。

イエス様のこの単純な教えは、聞き手を驚かせました。しかし、一番素晴らしいことは、この話の意味を理解することだけではありません。私たちの人生をイエス様とその教えの上に建てるのが祝福なのです。

聖歌 201

祈り 神様。イエス様のもとに私の人生の土台を置くことに私が喜びを感じるができるように助けてください。天のお父様にイエス様が私を近づけてくださることに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

リネット・カーナハングレイ
テネシー州 ロックフォード

4月22日(金)

面目を失う前に

聖書朗読 ルカ 14：1～14

主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。
ヤコブ 4：10

イエス様は、安息日にパリサイ派のある指導者の家で食事をなさいました。食事に招かれた人たちが上座を選んでいる様子に気づかれたイエス様は、彼らにたとえを話されました。「婚礼の披露宴に招かれたときには、上座にすわってはいけません。あなたより身分の高い人が、招かれているかもしれないし、あなたやその人を招いた人が来て、『この人に席を譲ってください』とあなたに言うなら、そのときあなたは恥をかい、末席に着かなければならいでしょう。」

私はイエス様の教えを聞くべきでした。私が若い宣教師として台湾にいたとき、結婚披露宴に招かれました。私は中国の人々から尊敬をもって扱われていましたので、新郎新婦の両親のとなりのテーブルに着きました。すると花嫁の父親が私のところに来て言いました。「どうぞ別のテーブルに移ってください。このテーブルには親族が着席しますのです」。

私は動揺を隠して、なんとか面目を保とうとしながら、イエス様の言葉が耳に鳴り響くのを聞きました。『だれでも自分を高くするものは低くされます。』 その時から私は自分を低くするように一生懸命気をつけています。イエス様はまた、『自分を低くするものは高くされる』とおっしゃっておられますので。

讚美歌 121

祈り 私たちのお父様。私たちが自分の心にある虚栄心を見つめることができますように。そしてへりくだる心から十字架にかかれたイエス様を、私たちが見習うことができますように。

イエス様の御名において祈ります。アーメン。

リチャード・N・アディ
オレゴン州 グレシヤム

4月23日(土)

満たされた魂

聖書朗読 ルカ 9:23~27

あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません。

ヤコブ 4:14

ある若者が大学を卒業しました。彼の父親は息子の卒業のお祝いに、特別な贈り物を用意していました。父親は息子に言いました。「お前に2軒の家と、その家を改築する費用として250,000ドルをあげよう。そのお金はどちらの家の改築にあててもいいが、1番目の家には一年間しか住んではいけない。そのあとで、2番目の家には一生住むことができるよ」。

その息子は、どちらの家にお金をつぎ込んで改築したと思いますか。一年間しか住めない家でしょうか。それとも一年後に一生住むことになる家でしょうか。

私たちの地上での人生は、この話の一番目の家のようなものです。私たちはこの世での生活に魂をつぎ込んで、できるだけものを得ようとします。しかし、この世での楽しみは一時的なもので、人生が終われば、わたしたちは空っぽの不満足な魂以外何も持たずにこの世を去るのです。

しかしながら、私たちが魂を神様との関係に注ぎ込めば、最高の喜びと永遠に満たされた魂の、両方を得ることができるのです。

讚美歌 488

祈り 神様。この世には多くの誘惑があり、私たちの心は簡単に嘘をついてしまいます。どうか私たちに憐れんで、この世で暮らせる日々を私たちが数えることができるように教えてください。あなたの確かな愛によって、朝に私たちに満たしてください。そしてその日一日中、キリストの栄光を私たちに示してください。

イエス様の御名において。アーメン。

チャック・ブライアント
テキサス州 ラボック

4月24日(日)

9人はどこに？

聖書朗読 ルカ 17:12~19

イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリヤ人であった。

ルカ 17:16

私の祈りは、答えられました。しかし誰が祈りに答えてくださったのか、果たして私は覚えているのでしょうか。祈りに答えてもらい、主に病気を治してもらいながら、感謝することを忘れた9人のらい病人の1人に私もなるのではないのでしょうか。病気の人を治してくださいと祈りながら、その病気が治った後、私たちは神様に感謝の祈りをささげているのでしょうか。

夜8時に医者から電話があり、妻を病院の緊急手術室に連れて行くようにと指示がありました。その日の日中、妻はその医者の診察を受けていました。インフルエンザにかかったあと、一週間食事をとることができなかったからです。妻には糖尿病があったので、医者は血液をとって検査に回しました。血液検査の結果、妻の血液中にはすべてのミネラルが欠乏していると分かり、病院につくと妻にはすぐに点滴がうたれました。彼女の生命は危ういところでした。

妻が食事をとることができるようにと、一週間、私は祈り続けてきました。神様がその私の祈りを聞き届けてくださったのだと今ではわかります。教会にもお願いして、人々に妻のために祈ってもらっていました。私は神様に感謝するとともに、教会にもその感謝の祈りをささげてもらおうと思いました。感謝することを忘れてはいけません！

讚美歌 448

祈り 主よ。あなたは私の祈りを聞かれ、たくさんの願い事を叶えてくださいましたが、私はそれに対してあなたをほめたたえて感謝することを忘れていました。どうかそのことを赦してください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョージ・モーテンセン
ワシントン州 カーランド